

TAGAMI KOUMINKAN DAYORI

地域づくり・人づくり・町づくり

豊かな自然に囲まれて

穏やかな清流「浅の川」と、緑豊かな「角間」の里山に囲まれて。

田上本町
田上本町第2
朝霧台
田上町
田上1丁目
田上2丁目

田上新町
田上公町
田上さくら並木
田上の里

太陽が丘・ひまわり

・あおぞら
・そよかせ
・ゆうひみ

上若松町
若松町
若松町兼六台
若松町東
若松町第3
若松町1丁目
若松町2丁目

若谷町
下中島
もりの里さくら並木

旭町・上
・中
・下

角間新町

たがみ
公民館だより

臨時号

令和4年6月30日

編集・発刊 田上公民館広報視聴覚部 <https://tagamicc.jp/>

つどう まなぶ むすぶ

田上公民館 館長
坂根 功一



このたび新たに田上公民館館長となりました坂根功一と申します。長年務められた関戸館長の後を継ぐことになりました。どうぞよろしくお願いいたします。

さて、この地域の変化には目を見張るものがあります。昔兼六中学校で学んでいた頃、ふと窓から目をやれば、遠く浅川郵便局前のたて道（とそう呼んでいたように思います）を走るボンネット型のバスが土煙をあげて走っていくのが見えました。いまでは山側環状線ができ、葡萄畑も田んぼも見えません。視界をさえぎる大きなビルが建ち並び、あの頃の面影はありません。

そんな変化に伴う利点もあれば、逆に課題もあります。特に、「持続可能なよりよい世界」を作っていくという課題があります。

そこで、館長としては、公民館という社会教育の機関の役割を考えたとき、その原点に帰り「つどう まなぶ むすぶ」という基本的な考え方を忘れずにこの先取り組んでいきたいと考えています。

「つどう」みんなが集まり、やって来て、語り合い交流する。

「まなぶ」みんなで学び、知り、感心し、新しい発見をする。

「むすぶ」みんなが知り合いになり、新しい和と輪ができる。

そんな田上公民館を目指したいと思っています。

今後ともご協力とご理解をよろしくお願いいたします。



長い間で支援いただき ありがとうございました

前館長
関戸 正彦



本年4月をもって公民館館長を退任いたしました関戸です。平成20年(2008)4月、20年にわたって館長を務められました中川さんからバトンタッチを受け、自分なりに14年間、館長としての役割を果たしてきたつもりです。活動については、全面的な継承とはなりませんでしたが、三大事業と両学級活動、国際交流等は工夫も取り入れて継続してきました。

さらに、金沢市公民館連合会会長を10年と県公民館連合会会長を8年務めてこられたのも、役員の皆さんと地域のご理解とご支援の賜物であり、お礼申し上げます。

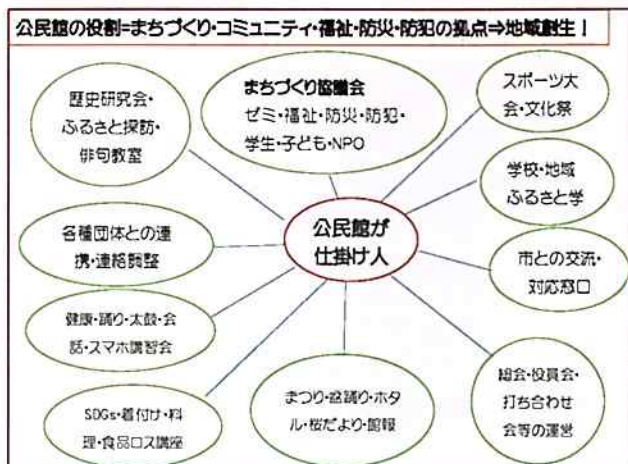
また、これまでの活動を見直し、「まち」・「ひと」づくりに取り組み、いくつかの事業は今も継続されていますが、肝心のひとづくりは大きな課題として残りました。

また、公民館の役割と仕掛け人として表のような取り組みにも努力してきました。

しかしながら、人づくりを含め反省も多々あり、今後は、地域の課題は何か、公民館は何をなすべきかなどを論議し、地域課題や現状分析から新たな地域創生のためのまちづくり・ひとづくりに取り組んでいただくようお願いいたします。私の願いは、

- ①誰もが、ちょっと立ち寄ってみたくなる、魅力ある公民館
- ②自己向上の願いが叶う、学びを大切にする 公民館
- ③人づくり・地域づくりに貢献できる、リーダーが育つ公民館
- ④人の温かさと心配りがにじみ、地域の絆を実感できる公民館

の4点であり、つどい・まなび・むすびあうから地域課題解決のための行動と事業展開をお願いして、退任にあたっての挨拶とさせていただきます。ありがとうございました！



2022年4月17日の「北國新聞」に見開き2ページで田上地区を紹介する「田上新聞」という特集記事が掲載されました。

そこには「戸室石引道の調査」、「道しるべに案内看板設置（田上公民館ふるさと歴史研究会）」、「子ども輝くまち目指す（太陽が丘）」、「ふるさと親子交流の場に（若松町まうまうのいえ）」、「コロナ下でも音磨き（田上本町たいこ倶楽部）」、「『スマート農業』設備を増設（俵ファーム）」の8つの記事が掲載されていました。

3～4ページでは北國新聞社のご厚意により、その中から「戸室石引道の調査」と「道しるべに案内看板設置」の記事をご紹介します。

戸室山麓→金沢城 石垣用の石を運搬 「石引道」継承の道をつなぐ

藩政期、戸室山麓から金沢城へ石垣用の戸室石を運んだ「戸室石引道」の発信を、地域住民が進めている。案内板などが設けられていないことから若い世代を中心に存在を知らない人が増えており、有志が10年ほど前から調査やイベントを行ってきた。道は途切れ途切れになっているが、石切り場跡などには往事をしのばせる風景が残り、住民は「金沢の大切な歴史の一つ」と価値を見詰め直している。



（かつて切り出された戸室石が斜面などに残る山林）

戸室石引道は、戸室山麓の石切丁場から浅野川を渡り、小立野台地を経て金沢城に至る約11キロの道のり。約400年前に金沢城の石垣として使うため戸室石の採石が始まって以降、掘り出した石を運搬するのに使われた。現在は道路整備や区画整理で道の一部が無くなっているが、石を加工する丁場があった場所には人の手で切った跡や刻印が刻まれた戸室石が並び、当時の活気を思わせる光景が広がっている。

道が通る地域のうち、小立野地区では毎年の「御山まつり」で当時の石運びが再現されてきた。しかし丁場のあった戸室別所など、現田上小校下では祭礼等がなく、住民の間では次第に親しみが薄れているという。

そんな郷土の歴史を掘り起こそうと、田上公民館では住民有志が戸室石引道の調査を開始。市がまとめた資料などをもとに当時の道がどこを通っていたのか調べ、2012年に田上を含む城東地区公民館連合会で石引道をたどるウォーキングイベントを初開催した。その後「ふるさと歴史研究会」が発足し、現在は小学校での出前授業などに取り組んでいる。

研究に加わる田上公民館前館長関戸正彦さんは、これまで金沢では市街地にスポットが当たることが多かったとし、「郊外にも金沢にとって大事な歴史がある。今、残っている物をうまく活用していくことが必要だ」と力を込めた。

左は戸室 蓮如上人が建立 右は湯涌

田上公民館ふるさと歴史研究会は16日までに、室町時代に道案内の役割を果たしていたとされる田上本町4丁目近くの石碑近くに、周辺の歴史を紹介する案内看板を設置した。

住宅街にたたずむ石碑は高さ2メートルほどで、「右ゆわく道」「左ともろ(戸室)道」と記されている。建立された時期は分かっていないが、地元では蓮如上人が湯涌温泉と二俣への分かれ道を示すしるべとして建てたと伝わる。

看板は地元住民が移住してきた若い世代に田上地区の歴史を伝えるために取り付けた。紹介文には「湯涌街道と二俣越え越中街道との重要な分かれ道」「藩政時代は『戸室石引道』の道しるべ」などと記した。

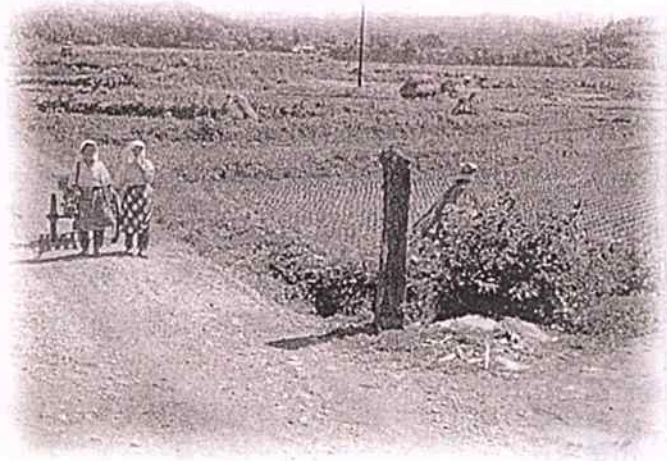
看板はQRコードも付け、スマートフォンのカメラをかざすと、インターネットで周辺の歴史や情報を閲覧できる。看板の根元は地元の戸室石で固定した。

昭和50年代に三つに折れたという石碑は、長らく民家の軒下に放置され、2009年の区画整理を機に元の場所で復元された。

研究会では今後も田上地区の史跡に案内看板を設置する予定にしている。



新たに設置した標柱を眺める住人



令和4(2022)年度田上公民館事業にあたって

新型コロナウイルス感染症は何度かの変異を繰り返し、コロナ感染は続いており、終息の見通しはまだありません。公民館もこれらの中で、三大事業をはじめ、多くの事業は自粛や縮小、変更と延期をせざるを得なくなっています。

公民館は、人の顔が見える関係を大切に「つどう・まなぶ・むすぶ」を原点に、地域の課題解決に向けての取り組みを実践していますが、新型コロナウイルス感染拡大により、対面による学びや体験等が難しくなってきました。

しかしながら、公民館のコミュニティ拠点を始め様々な拠点としての役割は重要性を増し、こんな状況下にあっても「人づくり・つながりづくり・まちづくり」への地域の期待は大きなものがあり対応していかなければなりません。

新年度も厳しい状況下にあるにしても、地域課題の解決に向けた社会参画型生涯学習・社会教育の展開により地域創生とまちづくりを進めていくため、以下の点を重要な視点と位置づけます。

- ①対面・体験活動機会の減少への対応
- ②オンライン化（デジタル化）への整備促進と活用
- ③身近なSDGsの取り込み、女性学級の見直し
- ④地域づくりシート等による期待される公民館・まちづくりの実践
- ⑤オフラインによる「(仮称) 目安箱」の設置

また、ふるさと歴史研究会や俳句教室、田上らしさのあるセミナーなどの定期開催、もちのき・かしわぎ学級の再構築とSDGs講座の他、学校と地域の新たな連携と協働を進める学校運営協議会の充実・強化のため、地域学校協働本部への参画はもとより、地域コーディネーターの養成や地域の先生の発掘を進めていきます。

また、運営審議会のワークショップで話し合った「これからの公民館」について、新たな体制の下、事業展開についての研究と検討を含め、地域のニーズと期待を的確に取り込み、具現化に向け取り組んでいきます。

令和4(2022)年度の重点事業

「ひとり一人の小さな心がけが、私たちの未来を変える！

まずは、できる事から始める！これが田上公民館のSDGsです！」

- 1 社会体育大会、ふれあい文化祭、成人式・茶話会の開催
 - ※1 社会体育大会—5月29日(日)
 - ※2 ふれあい文化祭—10月23日(日)
 - ※3 城東地区合同成人式と田上公民館茶話会—2023(令和5)年1月7日
- 2 ふるさと歴史研究会と俳句教室「山河句会」の定期開催
- 3 デジタル化の促進と公民館ブログの改善
- 4 「普段着の国際交流」の定着・「大学門前町学生のまち推進協議会」「ホタルの会」「浅野川愛護協会」「美しい景観を創る会」への参画と体制の見直し検討
- 5 第8回金沢マラソン(10月30日)応援スポット対応やランニングチーム田上の継続的な取り組みを支援
- 6 地域防災拠点整備と避難所体制づくり、避難所訓練の開催
- 7 郷土のこぼれ話・民話の紙芝居づくりやビデオ化、ふるさと歴史物語とふるさと子ども副読本の作成並びに、地域のお宝マップの作成とふるさと歴史看板等の継続的な設置
- 8 学校運営協議会の充実・強化と地域学校協働本部への参画と地域コーディネーター養成や土曜塾・サマースクール開催の検討
- 9 NPO法人の「金沢・杜の里」、「クラブぽっと」、「角間里山みらい」や「里山メート」と連携し町づくりを進めていく



令和4年度 公民館事業計画

令和2年度に続き、新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため、令和3年度も多くの変更が中止や規模を縮小での開催の事態となりました。

令和4年度は、4月に公民館運営審議会委員総会を開催できましたが、公民館委員総会は、資料送付の書面議決になりました。(結果は、総数78名 承認74名 未返送4名でした。)

それでも、5月17日(火)に田上小学校の体育館をお借りして、公民館委員総会を開催、54名の委員の皆様にお集まりいただき、今年度の事業やわがまちスタンプラリーについて協議いたしました。

○社会体育大会 5月29日(日)中止 代替事業として公民館わがまちスタンプラリー開催

○ふれあい文化祭 10月23日(日)開催予定

○(仮)成人式 1月7日(土)開催予定 (開催・名称等の最終判断は教育委員会)

SDGs学習講座は、7月から開催予定です。

月	日		月	日	
4月	1(金)	会計監査	9月	4(日)	市民ソフトボール大会(予備日18日)
	5(火)	第1回公民館振興協力会		10(土)	第14回町別グラウンドゴルフ大会(共催町連)
	14(木)	第1回公民館運営審議会委員総会			サマーサマーギャラリー作品展と表彰式
	15(金)	第1回公民館委員総会 総会資料郵送にて書面議決	10月	11(火)	公民館委員総会(文化祭実行委員会)
	23(土)	俳句教室山河句会(毎月第4土曜日)		15(土)	大学門前町学生のまち清掃活動
	27(水)	ふるさと歴史研究会(毎月第4水曜日)		23(日)	第44回ふれあい文化祭
				30(日)	金沢マラソン2022(応援スポット⑨⑩運営)
5月	17(火)	第2回公民館委員総会	11月		公民館だより 113号発行
	25(水)	ふるさと歴史研究会(伊能忠敬の足跡を学ぶ)		27(日)	市民バドミントン大会
	29(日)	公民館わがまちスタンプラリー	12月	4(日)	市民ソフトバレーボール大会
6月	12(日)	城東地区公民館スポーツ交流会		11(日)	城東地区公民館ソフトバレーボール大会
	19(日)	市民グラウンドゴルフ大会 公民館だより 臨時号発行	1月	7(土)	(仮)城東地区合同成人式 (仮)田上公民館成人の日茶話会
8月		こども公民館	2月	19(日)	第60回金沢市公民館大会 表彰式ほか
	24(水)	ふるさと歴史研究会(蓮如上人の足跡を学ぶ)	3月	4(土)	第13回麻雀大会
		防災減災対策会(避難所開設訓練)			公民館だより 114号発行

令和3年度 公民館歳入歳出決算書

【収 入】

(単位：円)

歳 入 科 目	当初予算額	補正予算	予算額合計	決 算 額	比 較	内 訳
項 節	①	②	①+②=③	④	④-③	
市委託料						
運営委託料	12,648,000	0	12,648,000	12,648,000	0	人件費、管理費、事業費
施設整備委託費	0	290,000	290,000	290,000	0	排煙ダクト改修、花壇白蟻対策
委託事業費	1,000,000	0	1,000,000	1,070,000	70,000	ICT活用、感染対策、地域コミュニティほか
計	13,648,000	290,000	13,938,000	14,008,000	70,000	
その他収入						
地元負担金	4,000,000	0	4,000,000	3,991,500	△ 8,500	1,000円×3,989世帯、後期4世帯
公民館使用料	200,000	0	200,000	343,000	143,000	
寄付金	20,000	0	20,000	0	△ 20,000	
事業収入	600,000	0	600,000	52,000	△ 548,000	糠にしん売上げ
雑収入	100,000	0	100,000	165,055	65,055	貯金利息、コピー代ほか
計	4,920,000	0	4,920,000	4,551,555	△ 368,445	
繰入金						
他会計繰入金	0	0	0	0	0	
繰越金						
前年度繰越金	1,094,000	0	1,094,000	1,094,173	173	
収 入 合 計	19,662,000	290,000	19,952,000	19,653,728	△ 298,272	

【支 出】

歳 出 科 目		当初予算額	補正予算	予算額合計	決 算 額	比 較	内 訳
項	節	①	②	①+②=③	④	③-④	
人 件 費	給 料	5,554,000	0	5,554,000	5,553,600	400	
	職 員 手 当	2,282,000	0	2,282,000	2,161,248	120,752	
	共 済 費	1,480,000	0	1,480,000	1,474,993	5,007	特定退職金共済、社会保険ほか
	臨時職員手当	66,000	0	66,000	0	66,000	臨時職員賃金5日×2名
	人 件 費 計	9,382,000	0	9,382,000	9,189,841	192,159	
管 理 費	報 酬	100,000	0	100,000	100,000	0	
	賃 金	30,000	△ 25,000	5,000	4,500	500	
	報 償 費	100,000	25,000	125,000	125,000	0	社会教育功労・優良役員・永年勤続
	旅 費	190,000	0	190,000	190,000	0	
	費用弁償	70,000	0	70,000	70,000	0	館長出張交通費
	月額旅費	120,000	0	120,000	120,000	0	
	交 際 費	160,000	0	160,000	145,000	15,000	見舞金、餞別、香典ほか
	需 用 費	1,320,000	△ 116,000	1,204,000	1,091,700	112,300	
	消 耗 品	200,000	△ 10,000	190,000	184,754	5,246	事務用品、新聞ほか
	印刷製本費	20,000	10,000	30,000	29,700	300	封筒印刷
	光 熱 水 費	750,000	△ 58,000	692,000	670,235	21,765	電気、ガス、上下水道
	修 繕 費	100,000	△ 58,000	42,000	14,267	27,733	非常灯器具取替(共用)
	食 糧 費	100,000	0	100,000	85,176	14,824	
	事務連絡費	150,000	0	150,000	107,568	42,432	
	役 務 費	700,000	0	700,000	504,552	195,448	保険料、電話料、郵便料ほか
	委 託 料	750,000	0	750,000	713,124	36,876	昇降機設備点検、警備ほか
	使用料及賃借料	550,000	△ 250,000	300,000	274,199	25,801	リース料、コピー使用料ほか
	工事請負費	0	406,000	406,000	405,900	100	排煙ダンパー改修、花壇白蟻対策
	備品購入費	0	0	0	0	0	
	負 担 金	312,000	0	312,000	311,550	450	市公連、城東ブロックほか
	積 立 金	100,000	900,000	1,000,000	1,000,000	0	積立累計 4,940,942円
	管 理 費 計	4,312,000	940,000	5,252,000	4,865,525	386,475	
事 業 費	少年教育費	120,000	0	120,000	55,988	64,012	
	青年教育費	120,000	△ 10,000	110,000	18,813	91,187	
	女性教育費	200,000	0	200,000	17,835	182,165	
	成人教育費	520,000	0	520,000	434,613	85,387	地域コミュニティ活性化事業
	高齢者教育費	360,000	△ 300,000	60,000	38,098	21,902	
	体育レクリエーション費	550,000	0	550,000	435,305	114,695	地域スポーツ振興事業
	視 聴 覚 費	90,000	40,000	130,000	129,015	985	
	文 化 祭 費	700,000	0	700,000	502,780	197,220	
	広 報 活 動 費	850,000	△ 40,000	810,000	633,342	176,658	館報臨時号・111・112号
	成 人 式 費	1,040,000	△ 6,000	1,034,000	1,004,048	29,952	会場使用、記念品、コロナ対策ほか
	社会体育大会費	350,000	△ 350,000	0	0	0	
	役職員研修費	220,000	0	220,000	100,997	119,003	
	ICT活用推進事業	505,000	10,000	515,000	514,250	750	15型液晶テレビ等、Zoomライセンスほか
	感染防止対策事業	305,000	6,000	311,000	310,035	965	非常口網戸取付、ウェブカメラほか
	事 業 費 計	5,930,000	△ 650,000	5,280,000	4,195,119	1,084,881	
予 備 費	予 備 費	39,000	0	39,000	0	39,000	
支 出 合 計		19,663,000	290,000	19,953,000	18,250,485	1,702,515	

収入合計 19,653,728 円 支出合計 18,250,485 円 繰越金 1,403,243 円



令和4年度 公民館役員・委員名簿

公民館運営審議会委員長	佐川 哲也	館 長	坂根 功一	
副委員長	上田 幸男	副館長	泉 雅夫	谷内 文男
			上田 誠一	
		相談役	関戸 正彦	

町会名	氏名	所 属	町会名	氏名	所 属
田上本町	上田 誠一	副館長	若松町東	津田 正子	体育レク部
	谷内 文男	副館長・体育レク部副		杉浦 寛昌	体育レク・スポ推進
	室屋 圭亮	体育レク部		北条 嘉正	体育レク部
田上本町第2	朝本 智朗	いきいき社会部	若松町第3	大久保 強	いきいき社会部長
	岡本 桂子	女性部副		柳 橋 修	いきいき社会部副
	小間井 大祐	女性部副	若松町1丁目	田嶋 正敏	いきいき社会部
朝霧台	柿澤 敬一	文化教養部		山本 敏子	いきいき社会部
	中田 恵子	文化教養部	若松町2丁目	土本 邦博	広報視聴覚部
田上町	南出 繁	体育レク部		橋爪 時恵	文化教養部
	上田 雄一	青少年部	若谷町	山岸 豊	青少年部
	上田 英資	青少年部		中根 幹夫	体育レク部
	岡本 大作	文化教養部	下中島	川端 柳一	体育レク部
	谷内 美恵子	広報視聴覚部		剣持 淳也	青少年部
田上の里	池田 亨	体育レク部	旭町上	奥村 千鶴	女性部長
	松原 正恵	広報視聴覚部副		澤 ひろみ	青少年部
田上さくら並木	荒木 拓	広報視聴覚部		広村 純治	青少年部長
	上田 俊吾	いきいき社会部		竹内 直美	女性部
田上1丁目	福田 誠一	いきいき社会部		七山 瑠美	体育レク部
	上田 俊明	いきいき社会部	旭町中	針原 奈実	広報視聴覚部
	中本 弘美	体育レク部		小林 外志栄	文化教養部
田上2丁目	三浦 清宏	広報視聴覚部長	旭町下	水井 敏夫	文化教養部副
	館 謙太郎	文化教養部		下 豊秋	体育レク部
田上新町	泉 雅夫	副館長		水本 朋宏	文化教養部
	福田 和夫	文化教養部長		越山 由紀	文化教養部
	後藤 清典	文化教養部	太陽が丘	大坪 秀昭	青少年部
	濱本 瑞子	文化教養部	ひまわり	清水 紀子	女性部
	内田 惣介	体育レク部		林 忠一	青少年部
田上公町	池田 久志	文化教養部		若林 昌宏	体育レク部
	林 利紀	広報視聴覚部	太陽が丘	松本 直樹	体育レク部副
	澤木 梓之輔	体育レク部	あおぞら	石田 和子	青少年部
上若松町	田村 功	体育レク部長		竹中 美幸	女性部
	岡田 誠	体育レク部		谷口 辰雄	文化教養部
	山下 弘美	女性部	太陽が丘	尾崎 雄一郎	文化教養部
若松町	西 千里	女性部	そよかぜ	大西 紀子	体育レク部
	城岸 整功	青少年部副		木村 留美子	広報視聴覚部
	前田 和幸	青少年部	太陽が丘	二ツ寺 琴栄	広報視聴覚部副
角間新町	田中 聡	文化教養部	ゆうひみ	小田 輝美	文化教養部
若松町兼六台	関札 明雄	広報視聴覚部		大森 港	女性部
	角海 久仁江	文化教養部	もりの里	河合 雄二	いきいき社会部
			さくら並木		

専門部会は、体育レクリエーション部・文化教養部・女性部・青少年部・広報視聴覚部・いきいき社会部の6つの部があります。

ご意見・ご感想・ご希望をお聞かせください。下記FAXまでお寄せください。

Kanazawa Tagami Community Center 〒920-1156 金沢市田上の里2丁目3番地

TEL 076-261-1331

FAX 076-261-1516 <https://tagamicc.jp/>

